

現況分析基本データシステムの 開発について



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構



データシステムの再構築

課題

- ①Excel調査票のファイル数が多いため、煩雑である
- ②データ出力や修正が遅い
(例：グラフや表の出力に時間がかかる、修正時に機構担当者が介在するため、時間がかかる)

改善方策

- ◆ウェブ入力やcsvファイルでの提出を可能にするなど、効率的なデータ入力方式を追加
- ◆BIツールとの連携により、グラフや表の出力速度を向上
- ◆エラーチェック機能の強化によって、機構担当者が介在せずに、法人担当者自身で直接データ修正を行えるよう変更

システム再構築

効果（メリット）

- ★効率的なデータ入力、出力の即時性（レスポンス）向上、入力データ数削減
→法人担当者の作業の負担軽減・作業時間の短縮
- ※ 法人担当者によるデータの修正も円滑になり、データ精度も向上

～第4期現況分析のデータシステム（イメージ）～

①データ入力

(例：学生数、女性学生数、海外派遣学生数、卒業生数)

データシステム

③指標データ提供

(例：女性学生の割合、海外派遣率、標準修業年限内卒業率)

②指標データ提供

(例：女性学生の割合、海外派遣率、標準修業年限内卒業率)

現況調査表（自己評価）におけるデータ活用

評価者



データを活用した客観的な評価

【第4期4年目終了時評価までの流れ】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
機構	開発		評価実施
法人		データ入力・自己評価	

※第4期現況分析の評価対象組織（現況分析単位）は、文部科学省国立大学法人評価委員会の決定によって令和6年度末時点を目途に確定する。



データ入力機能のポイント

- ◆ データ入力機能については、①ウェブ入力、②CSVファイル、③Excel調査票による3種類を用意（ウェブ入力を推奨）

＜ウェブ入力の完成イメージ＞

学科・専攻			年次												合計	
専攻・コース	課程	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		5 年次		6 年次				
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
グローバル経営学科	国際マーケティング専攻	課程1	50	30	50	30	40	20	40	20	0	0	0	0	180	100
		課程2	40	20	40	20	30	10	30	10	0	0	0	0	140	60
	貿易・ロジスティクス専攻	課程1	30	10	30	10	25	10	25	10	0	0	0	0	110	40
		課程2	20	10	20	10	15	10	15	10	0	0	0	0	70	40
合計			140	70	140	70	110	50	110	50	0	0	0	0	500	240

条件選択画面に戻る

項目定義確認

一時保存

データの保存

【補足】組織データの紐づけ機能のイメージ

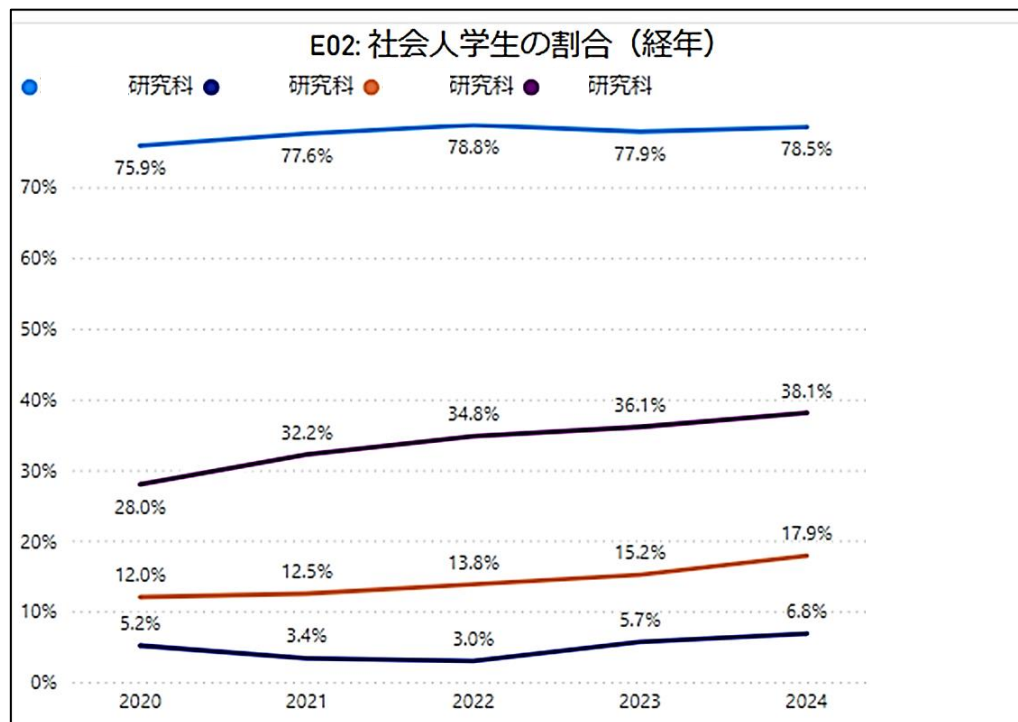
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
旧組織との紐づけ (改組等の場合)	△人文学部 □社会学部	△人文学部 □社会学部	○人文社会学部	○人文社会学部
大学基本情報と一致 する組織との紐づけ	▲人文学部 ■社会学部	▲人文学部 ■社会学部	●人文社会学部	●人文社会学部



指標データの出力・提供機能のポイント

- ◆ 指標データについては、第3期と同様、以下の2種類を用意。
 - ① 現況分析単位別に評価対象年度中の経年変化を把握できるもの
 - ② 学系別に各法人の現況分析単位の状況を把握できるもの
- ◆ 指標データの提供については、「国立大学法人等ファイル共有サイト」※を使用予定。※法人別の達成状況報告書様式と同じサイト

<指標レポートの出カイメージ(経年変化の場合)>





現況分析基本データの指標（教育）

指標番号	指標
E01	学生数（男女別）
E02	社会人学生の割合
E03	留学生の割合
E04	日本人留学生の割合
E05	入学定員充足率
E06	本務教員あたりの学生数
E07	本務教員数（男女別）
E08	退学率
E09	入学者のうち標準修業年限内卒業・修了率
E10	入学者のうち標準修業年限×1.5年以内卒業・修了率
E11	卒業・修了者に占める進学者の割合
E12	卒業・修了者に占める就職者の割合

＜定義の共通化を図るデータの参照元＞

- ・ 大学基本情報（学校基本調査）のデータ
- ・ 認証評価（機構の大学機関別認証評価独自のものを含む）のデータ
- ・ その他（「日本人学生留学状況調査」（日本学生支援機構）のデータ等）



現況分析基本データの指標（研究）

指標番号	指標
R01	本務教員あたりの科研費採択内定件数
R02	本務教員あたりの科研費内定金額
R03	本務教員あたりの共同研究受入件数
R04	本務教員あたりの共同研究受入件数（国内・外国企業からのみ）
R05	本務教員あたりの共同研究受入金額
R06	本務教員あたりの共同研究受入金額（国内・外国企業からのみ）
R07	本務教員あたりの受託研究受入件数
R08	本務教員あたりの受託研究受入件数（国内・外国企業からのみ）
R09	本務教員あたりの受託研究受入金額
R10	本務教員あたりの受託研究受入金額（国内・外国企業からのみ）
R11	本務教員あたりの寄附金受入件数
R12	本務教員あたりの寄附金受入金額
R13	本務教員あたりの特許出願数
R14	本務教員あたりの特許保有数
R15	本務教員あたりの外部研究資金の金額
R16	本務教員あたりの民間研究資金の金額

<定義の共通化を図るデータの参照元>

- ・ 大学基本情報（学校基本調査）のデータ
- ・ 「大学等における産学連携等実施状況」（文部科学省）のデータ

各種様式等に関する 補足・留意事項



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構



中期目標の達成状況報告書

- ◆ 達成状況報告書については、以下の理由により法人別に様式を作成。
 - ① 評価者の負担軽減（評価指標の達成状況に係る記載をデータ化し集計等）
 - ② 常に最新の中期計画及び評価指標（基準値・目標値等を含む）を共有
- ◆ 作成に当たっては、実績報告書作成要領と本要領に基づく「達成状況報告書の作成に当たって」に留意。また、Q & A も適宜参照のこと。

<達成状況報告書の様式イメージ>

○ 各中期目標の達成状況

I 教育研究の質の向上に関する事項

中期
目標

各法人の中期目標を記載しています。

中期計画

【01】~~~~~

○評価指標

- ①~~~~~
- ②~~~~~
- ③~~~~~

各法人の中期計画及び評価指標を
記載しています。

中期計画の実施状況等

《中期計画の実施状況》
＜令和4～7年度の実績及び令和8～9年度の見込み＞

【評価指標】の達成状況

1) 定量的な評価指標

・評価指標の達成状況【4年目終了時】

No.	基準値		実績					見込み		目標値
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R8年度	R9年度	
	24									32

<補足>

2) 定性的な評価指標

・評価指標の達成状況【4年目終了時】

No.	進捗等
	＜令和4～7年度の実績及び令和8～9年度の見込み＞

各法人の定量的な評価指標に関する基準値・
目標値等を記載しています。
※ 基準値・目標値は、文部科学省国立大学法人評価委員会
事務局からの「第4期中期目標期間の業務実績評価に向けた
確認事項等について」に基づくものです。



現況調査表／研究業績説明書等

<現況調査表／研究活動状況に関する資料／現況分析基本データ>

<現況調査表／研究活動状況に関する資料>

- ◆ 作成に当たっては、実績報告書作成要領に留意。また、Q & A も適宜参照。

<現況分析基本データ>

- ◆ データの項目・定義については、付属資料「現況分析基本データに用いるデータについて」のとおり。
(データ入力等のスケジュールについては、「今後の予定について」を参照)

<研究業績説明書>

- ◆ 作成に当たっては、実績報告書作成要領に留意。また、Q & A も適宜参照。
- ◆ 研究業績説明書（Excelファイル）のデータについては、当機構のシステムに取り込んで自動化することで、膨大な判定作業を可能にしているため、様式の変更は不可（行の高さの変更等は可）

※ 研究業績水準判定に係るシステムについては、令和7年度中に調達の上、運用開始予定。

今後の予定について



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構



今後の予定①

—令和7年—

<4月>

- 現況分析単位（学部・研究科及び研究組織等）の
学系分類についての照会【機構→法人】

<5月>

- 現況分析基本データシステムにおける組織登録の照会【機構→法人】

<6月>

- 国立大学教育研究評価委員会（第77回）
→ 現況分析単位の学系分類、評価者向けの共通方針の審議

<7月>

- 現況分析基本データに関するデータ入力依頼【機構→法人】
- 現況分析基本データシステムの操作説明会【機構→法人】

<10月頃>

- 現況分析基本データの指標データ提供開始【機構→法人】

<11月頃>

- 国立大学法人等評価実務担当者研修会【機構→法人別】



今後の予定②

－令和８年－

< １ 月 >

- 達成状況報告書、現況調査表及び研究業績説明書の提出方法を連絡
【機構→法人】

< ４ ～ ６ 月 >

- 達成状況報告書、現況調査表及び研究業績説明書の提出
【法人→機構】

（提出期限）

- ・ 研究業績説明書：令和８年４月24日（金）
- ・ 学部・研究科等の現況調査表：令和８年５月29日（金）
- ・ 中期目標の達成状況報告書：令和８年６月30日（火）



Q & Aについて

大学等の評価

＞ 認証評価

- ・ 大学機関別認証評価
- ・ 高等専門学校機関別認証評価
- ・ 法科大学院認証評価

＞ 選択評価

- ・ 大学機関別選択評価

＞ その他の第三者評価

- ・ 第三者評価

＞ 国立大学教育研究評価

- ・ 国立大学及び大学共同利用機関の教育研究活動の評価

＞ 認証評価・選択評価に関する検証

＞ その他評価に関する情報

＞ 過去の情報

- ・ 短期大学機関別認証評価（平成23年度をもって終了しました）
- ・ 専門職大学院認証評価に関する検討会議

実施要項及び各様式等

第4期中期目標期間の教育研究の状況についての評価（令和8年度実施分）

- ・ [「評価実施要項」](#)【令和7年1月改訂】 PDF-file
- ・ [「実績報告書作成要領」](#)【令和7年1月】 PDF-file
- ・ [「評価作業マニュアル」](#)【令和7年1月】 PDF-file
- ・ [「現況分析基本データに用いるデータについて」](#) PDF-file
- ・ [「第4期中期目標期間の教育研究の状況についての評価に関するQ & A」](#)【令和7年1月】 PDF-file

- ・ [「現況調査表」（教育）様式](#)（Zip形式）
- ・ [「現況調査表」（研究）様式](#)（Zip形式）
- ・ [「研究活動状況に関する資料」様式](#)（Excel形式）

- ・ [「研究業績説明書」様式](#)（Excel形式）

- ・ [「研究業績説明書」イメージ](#) PDF-file

※ 本様式を用いてシステムヘデータを取り込むことを想定しているため、
様式の構成に変更を加えることはご遠慮ください（高さの変更等は構いません）

【掲載先】

当機構トップページ＞大学等の評価＞国立大学及び大学共同利用機関の教育研究活動の評価
＞第4期中期目標期間（令和4年度～令和9年度）の教育研究の状況についての評価

https://www.niad.ac.jp/evaluation/research_evaluation/kokuritukyoudou/



大学質保証ポータルのご案内

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構
大学質保証ポータル

文字サイズの変更 ▾ サイトマップ 🔍

HOME 質保証情報 用語集 Glossary ご意見・ご要望

質保証情報

- 内部質保証
- 分野別質保証
- 質保証人材育成
- 学位に付記する名称
 - 国立大学法人評価

国立大学法人評価

国立大学法人評価と認証評価の違い

当機構が実施する教育研究評価について

第4期中期目標期間の教育研究評価に付いての検討

国立大学法人評価は、①中期目標期間（6年）の4年目終了時、②中期目標期間終了時の業務の実績に関する評価について、文部科学省の国立大学法人評価委員会が実施します。ただし、大学等の教育研究の特性に配慮し、教育研究の状況については、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構にその評価の実施を依頼し、評価結果を尊重する仕組みとなっています。

大学評価早わかり「法人評価では、なぜ4年目と6年目に2回評価があるのか？」

第4期中期目標期間評価の全体像

国立大学法人評価

【URL】 <https://niadqe.jp/>